学校番号	3005

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）、新訂実用国語セミナー（浜島書店）、 カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習として、本文を一読しておきましょう。
様々な文章を読解することで「読む能力」を高め、発表や文章記述などを通して「話す・聞く能力」「書く能力」を養いましょう。
ノートは自主的にとり、丁寧に書いてください。プリントは指示通りノートに貼るか、もしくはファイリングし、整理しましょう。
漢字や語彙力、作文の表現力などを身につけるため、２年次に使用した『新訂実用国語セミナー』を継続して使用します。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章の内容を正しく理解し、適切に表現する能力を高める。
論理展開に注意し、作品の背後に広がる時代背景、文化、筆者の思考様式、意図にまで理解を深め、扱われている問題点に関心を持ち、的確に捉えることができる。
語句の意味や用法を的確に理解し、語彙力を身につけている。
自分の思いを文章にまとめたり、人に伝わるように自分の考えを話したりできる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	学習活動への参加姿勢や態度 ノート プリント ワークシート	学習活動における発言内容や態度 ノート プリント ワークシート	レポート、感想文などの作成した文章 ノート プリント ワークシート	学習活動における発言内容や態度 ノート プリント ワークシート 定期考査	学習活動における発言内容 ノート プリント ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a.	b	c	d	e		
前期	評論	［教材］ 最初のペンギン	○			◎	○	a:取り上げられている問題に興味を持っている。 d:論理展開に注意して対立図式を読み取って本文の要点を理解している。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 d：ノートの確認 文章の確認 e：定期考査
	随想	「物語の外から」	○			◎	○	a:取り上げられている問題に興味を持っている。 d:論理展開に注意して読み取って本文の要点を理解している。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 ノートの確認 d：文章の確認 e：定期考査
	随想	カフェの開店準備	○			◎	○	a:体験に基づく文章を手がかりにして日々の何気ない自分の日常を見つめ直すことができる。 d:筆者の考えを的確に理解している。 e:紛らわしい漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a：発言 d：ノートの確認 文章の確認 e：定期考査
後期	評論	豊かさと生物多様性	○	◎			○	a:生物多様性の重要性と課題について自分なりに関心を持っている。 b:教材の図表や資料を活用して本文の主旨と問題点を自分なりにまとめている。 e:漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a：発言 b：ノートの確認 文章の確認 e：定期考査

	小説	こころ	○		◎		○	a:作者や作品の時代背景に関心を持ち、人間関係における人物の心情を的確に把握して人の心のありようについて考えを深めることができる。 c:長文の教材の話の流れを把握し、登場人物の心理の動きを捉え、自分の考えが書けている。 e:主題の中心となる重要な語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 c：ノートの確認 e：定期考査
	評論	言葉は世界を切り分ける	○		◎		○	a:具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取る。 c:主題である言葉の働きついて自分の考えを書く。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 c：ノートの確認 文章の確認 e：定期考査
	評論	ホンモノのおカネの作り方	○	◎			○	a:具体例と抽象的な説明に着目して本質を掘り下げて考える態度が身についている。 b:積極的に知識や考えを発表し、他の人の発言を適切に聞き取っている。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a：発言 b：ノートの確認 文章の確認 話し合いの観察 e：定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している